



スーパー グローバル ハイスクール

佐高 SGH通信 2017

No.24 (2017年8月31日発行)

SGH台湾フィールドワーク研究調査(7/24~28)

台湾 921 地震後における農山村の復興

～南投県埔里鎮を事例に～

研究動機～容易でない、災害からの復興～

震災の多い日本だが、震災以前の繁栄を取り戻しているところは少ない。(例) 神戸港の集荷力低下

今回のフィールドワーク先に定めた台湾南投県埔里鎮桃米里は、人口千人余の過疎に悩む農山村。そこへ 921 大地震 (1999) で世帯数の 6 割が全半壊。

しかし、震災後の寒村に観光客 75 万人 (1.7 億円) 増、民宿 32 軒・レストラン 10 軒新設と、震災をチャンスに変えた。まちづくり復興が素晴らしい。

今回の研究領域

- ・災害からの復興 復興とまちづくり
- ・持続可能な水資源 医療の日台比較

暨南国際大学附属高校でプレゼン&グループワーク

桃米生態村(エコビレッジ)で経済復興

どこにでもある自然を、被災住民自ら徹底清掃→客の呼べる里山景観に

紙教会堂

かつては紙工業の村。この集会所はすべて紙でできている！椅子も！柱も！復興の精神的支柱&観光資源に。

被災住民自身で建てた

生態解説員は被災者自身。住民をエンパワーメント。篠崎凛花さん(高3)「どれくらい勉強しますか」李盈盈さん「解説員資格取得に 2000 時間研修します。」

震災遺構を保存し、観光・教育資源

街のいたるところで保存、人気観光スポットに

何気ない資源で元気付け復興させ、人を呼び込めている。人々の温かさ、商魂のたくましさを見ることができた。桃米の一つのお手本とすべきだ。(松澤あさひさん)

ここまで震災から復興できた理由は、人の温かさやアイデア力。エコビレッジは、ブリーの何気ない魅力と被災者の思いがつまった場所です。(坂井 里衣さん)

埔里の人たちは、私達なら絶対気付かないような地域資源を見つけ、それを発展させていくのが上手だ。今の日本、佐野市に最も必要な力ではないだろうか？(大戸さくらさん)

埔里鎮市役所聞き取り調査では、「逆にお聞きします。なぜ日本ではあまり保存しないのですか？」

英語で質問。中国語が必要な際は、高2の飯塚 菜摘さんが大活躍しました！

持続可能な水資源管理の在り方

- ・日本も台湾も湿潤気候だがすぐ海へと流失。世界 18 位の水不足国・台湾の取り組みを学びたい。（相田真沙樹さん）
- ・台北市の水質は、データ上は良好だが市民は水道水を飲まず**ペットボトル水**に頼っている。なぜか。（飯塚菜摘さん）

昨年の研究成果を**台湾市水道局**にプレゼン＆質疑応答（英語）

佐野・台湾ともに合流式下水道であることを生かした雨水利用法を提言。

水道水を飲まないのは文化・慣習の影響。認知度を高める努力をしたい。

『佐野水』を提供。佐野市の**アイデア**にはなるほどと頷いていました。

台湾の環境教育と取り組み

- ・台湾には**ゴミステーション**がないことに気付いた。同じ狭い島国で、ゴミ問題はどのように解決しているのか。
- ・台湾の慈済会のような環境ボランティアが活発な理由と教育（石川健吾さん）

慈濟内湖リサイクルセンター体験（台北市）

いつも笑顔なのはなぜですか

地球を愛しているからです。

地球が健康になればそれだけ私も健康になるのです。

おじさんの様にいつまでも健康な秘訣は何ですか

国立暨南国際大学及び同附属高校訪問（熱烈歓迎！）

- ・現地高校生とグループワーク「地元の地域資源を生かした観光案を相手高校生にPRする」
- ・楊武勲教授（比較教育学）に同大学の国際教育についての講話と質疑応答

研究成果を**現地高校生**にプレゼン＆質疑応答（英語）

楊武勲研究室（比較教育学）訪問

台中慈濟病院見学

- ・国際化、多文化社会が進む台湾の医療体制の取り組みを学びたい。
- ・最も急速に少子高齢化が進む北東アジア各国の医療体制を比較研究したい。

台湾の**外国人医療体制**について（大芦さくらさん）

郭勁甫医師「台湾の医師は**英語**なら誰もがバッチリです！」

過酷事故時の**非常用水源**について（石川 健吾さん）

屋上の**雨水貯留タンク**を見学させて頂いた。

佐野高校 SGH クラブが台湾の**テレビ**に出演しました！（夕方ニュース）

『台湾好報』（7月26日）など**現地3紙**の記事にも

王俊吉さん（台北市自來水事業処）

閻麗妮さん（慈濟内湖リサイクルセンター）

張正彦校長、劉明煌先生（暨南国際大学同付属高）

楊武勲先生、黃照耘先生（国立暨南国際大学）

李盈盈さん（桃米生態村。新故郷文教基金会秘書）

埔里鎮公所（市役所に相当）

郭勁甫医師、胡進忠さん、曾益冰さん（台中慈濟醫院）

歐陽玉蘭さん（同行添乗員さん。スペイン語すごい!）

感激万分！我們的心中充滿了感激！

テレビで流ちょうな中国語を駆使しているのは現地高校生ではなく、本校生徒です（飯塚菜摘さん）。